

様式第1号 (第4条関係)

令和3年 5月 12日

埼玉県行田市長 石井 直彦様

<提案者>

所在地

団体名

代表者氏名 福島 伸悦

電話番号

e-mail

行田市市民活動やる気応援助成金事業提案書

行田市市民活動やる気応援助成金の交付を受けるための提案事業としての採択を受けたいので、下記のとおり提案します。

記

1 助成事業の種類 (いずれか該当するほうに○)

○新たな取組応援事業 ・ スタート応援事業

2 事業の名称 [語り部の会]10周年記念 昔ばなし書籍発刊事業

3 総事業費 金 1,411,000 円

4 助成対象額 金 1,411,000 円

5 添付書類

- (1) 新たな取組応援事業計画書 (様式第2号) 又はスタート応援事業計画書 (様式第3号)
- (2) 事業詳細計画書 (様式第4号)
- (3) 収支予算書 (様式第5号)
- (4) 会員名簿 (様式第6号)
- (5) 団体の定款又はこれに準ずるもの
- (6) 活動実績一覧 (様式第7号)
- (7) NPO法人化に向けた取組実績が確認できる書類 (スタート応援事業)
- (8) その他助成金の審査において市長が必要と認める書類

新 た な 取 組 応 援 事 業 計 画 書

事業名	[語り部の会] 10周年記念 昔ばなし書籍発刊事業
助成分野	☒ “ひとの元気” ☒ “地域の元気” ☒ “まちの元気”
実施期間	令和3年 4月 30日 ～ 令和3年 10月 1日（155日間）
事業の目的（地域のニーズや課題等を明確にしたうえで具体的に記載してください） 当会は、歴史遺産豊穡の地、郷土に古くから伝わる先人の遺産を、口の端に載せて社会に送り出し、地域の人々の愛郷心を養うことを目的としています。 当会は、発足して10周年を迎えます。10周年記念事業の一環として、活動を行ってきた伝承を「忍の行田の昔ばなし」本として出版を行い”ふるさと行田の心”を伝承するため発刊するもの	
事業の概要（詳細については、事業詳細計画書（様式第4号）に記載してください） 忍の行田の「昔ばなし」語り部の会は、行田市を中心に活動する語り部の団体です。この10年間で語り部の教本として6集70余話を作成し実施してまいりました。10周年を機会に教本を中心に書籍としてまとめ刊行したい。 普段の事業は、 ・「出前公演」の開催：（毎月）石之蔵空華、ぶらっと行田、高澤記念館（不定期） ・「語り部」養成講座：（毎月）第2金曜日 午後1時 行田商工センター ・語り部用教本作製： 伝承用教本	
事業実施により期待される効果（事業の成果、波及効果などを記載してください） ・古くから伝わる先人の遺産を継承できる ・地域に伝わる昔ばなしに触れてもらい楽しんでもらう ・今後の伝承のための教科書として有効 ・地域文化振興に寄与する ・地域への歴史・伝統に対し誇りを保持することができる	

事業詳細計画書

個別事業名	事業の詳細・実施方法	実施期日	実施場所
「語り部の会」 10周年記念 昔ばなし書籍 発刊事業	（事業の目的） 当会は、発足して10周年を迎える。10周年記念事業の一環として「忍の行田の昔ばなし」本を発刊し”ふるさと行田の心”を伝承するため （事業内容） 忍の行田の「昔ばなし」語り部の会は、行田市を中心に活動する語り部の団体です。 この10年間で語り部の教本として6集70余話を作成し実施してまいりました。10周年を機会に教本を中心に書籍としてまとめ刊行したい。 （作成スケジュール） 入 稿：令和3年4月30日 第 1校正：令和3年5月30日 第 2校正：令和3年6月20日 第 3校正：令和3年7月10日 最終校正：令和3年7月31日 発 行：令和3年10月1日 表紙装丁：会員に依頼（～7月） イラスト：進脩館高校美術部依頼（～7月） （事業詳細） ＜刊行物内容＞（B5判）280頁 無線綴じ ○構成 ・目次：序、市内等地区別のお話（80話） ・付録：地図（お話の番号とリンクさせる） 写真（お話の番号とリンクさせる） ・編集後記 ○印刷内容 ・表紙：4色（4種類）特殊紙 ・本文：4色（4種類）100頁上質4/6判70kg ・本文：1色（1種類）180頁上質4/6判70kg ○発行部数：400冊 ○配布方法：無償配布 ○配布先：県、市庁関係、県内図書館 市内小中学校、市内公民館等	令和3年4月30日～令和3年10月1日 (155日間)	

様式第5号（第4条関係）

収 支 予 算 書

○収入の部

単位：円

科 目	予 算 額	積 算 の 根 拠	備 考
自己資金	420,000	忍の行田の昔ばなし集作成準備金（平成24年度より積立）	
その他収入	891,000		
他の助成金等	200,000	県からの助成金	
その他（協賛金）	691,000	各個人からの協賛金	
市助成金要望額	100,000		
合 計	1,411,000		

○支出の部

単位：円

科 目	予 算 額	積 算 の 根 拠	助成対象額
印刷製本費	1,300,000	・ 400冊（280頁） イラストカラー：1,100,000円 ・ デザイン・校正料100,000円 ・ イラスト・装丁費100,000円	1,300,000
通信運搬費	111,000	・ 県図書館・市内学校等 （370円×300件）	111,000
合 計	1,411,000	収入合計と一致	1,411,000

お見積書

NO.

2021 年 2 月 17 日

ご照会賜りました件、下記の通りお見積申しあげます。
何卒ご用命のほど、お願い申しあげます。

語り部の会

御中

件 名: 「忍の行田の昔ばなし」

お見積金額: ¥1,100,000-

(消費税含む)

納 期:

納 品 場 所: 貴社ご指定場所

支 払 条 件: お振込み

有 効 期 限: 提出後 4ヶ月

三共印刷株式会社

〒 361-0021

埼玉県行田市富士見町2-1-30

TEL.048-556-6201

FAX.048-556-6204



	項 目	数 量	単 価	金 額	税区分
1	「忍の行田の昔ばなし」				
2	B5判 280頁 無線綴じ	400	¥2,500	¥1,000,000	
3	表紙/4c 特殊紙			¥100,000	税10%
4	本文/4c:100頁 上質4/6判70kg				
5	1c:180頁				
6	※デザイン/編集より				
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
31					

備 考 欄

忍の行田の「昔ばなし」語り部の会会員名簿

会長	フクシマノブヨシ 福島伸悦
副会長	ヒライユリエ 平井ユリ枝
	サトウタイジ 佐藤泰司
	ノハラエミコ 野原恵美子
事務局	トミタユウコ 富田祐子
	ウエダヒサコ 上田久子
会計	コクボリョウコ 小久保亮子
	コザカイユリコ 小塚百合子
理事	ヤマモトケンサク 山本憲作
	イシグロタカシ 石黒 隆
	アイハラカホリ 相原香保留
	アライマサコ 新井まさ子
	オオサワカツジ 大澤勝次
	オオシマサチコ 大嶋幸子
	オクヤマヒロコ 奥山紘子
	サトウトミコ 佐藤登美子
	スズキサチエ 鈴木幸江
	タキザワフサ 滝沢布沙
	ツチヤヒロユキ 土屋博行
	ツチヤマリコ 土屋真理子
	ヤスオカミチコ 安岡三智子
監事	ナカジマショウジ 中島捷二
	フルサワユウジ 古沢勇治

令和元年度 忍の行田の語り部の会 会員名簿

NO	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号	携 帯
1	相原 香保留				
2	新井 まさ子				
3	石黒 隆				
4	今村 武蔵				
5	上田 久子				
6	上田 恵司				
7	漆原 金作				
8	永島 加寿子				
9	永島 健雄				
10	大澤 勝次				
11	大嶋 幸子				
12	大嶋 康三				
13	岡田 恵美				
14	小川 雅以				
15	奥山 絃子				
16	小澤 誠邦				
17	柿沼 貴志				
18	唐沢 実				
19	川島 洋子				
20	木嶋 清				
21	北 裕子				
22	小久保 亮子				
23	小堺 百合子				
24	小巻 良子				
25	紺野 勝明				
26	佐藤 登美子				
27	佐藤 泰司				
28	清水 孝男				
29	白神 里佳				
30	杉田 禮三				

NO	氏 名	郵便番号	住 所	電話番号	携 帯
31	鈴木 泉美				
32	鈴木 幸江				
33	関口 進				
34	高田 栄				
35	滝沢 布沙				
36	田口 八千代				
37	田代 敬二				
38	土屋 博行				
39	土屋 真理子				
40	富田 祐子				
41	中島 捷二				
42	中村 博行				
43	野原 恵美子				
44	早川 貴				
45	平井 武夫				
46	平井 ユリ枝				
47	福島 伸悦				
48	福島 智雄				
49	古沢 勇治				
50	古沢 喜子				
51	保泉 欣嗣				
52	細井 保雄				
53	水野 武久				
54	安岡 三智子				
55	梁瀬 里司				
56	柳瀬 茂				
57	矢澤 知嘉子				
58	矢部リンメイ				
59	山本 憲作				
60	横川 福治				
61	吉田 嘉夫				

忍の行田の「昔ばなし」語り部の会 会則

第1章 総則

祭1条 (名称)

この会の名称は、忍の行田の「昔ばなし」語り部の会（以下「本会」という）と称する。

第2条 (主たる活動場所と所在地)

本会の主たる活動場所は、行田市及び旧忍藩に関する地域（以下「郷土」という）とする。

本会の所在地は、埼玉県行田市須加4621番地

第3条 (目的)

本会は、歴史遺産豊穰の地、郷土に古くから伝わる先人の遺産を、口の端に載せて社会に送り出し、地域の人々の愛郷心を養うことを目的とする。

第4条 (事業)

本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 郷土の昔ばなしを収集する
- (2) 郷土の昔ばなし「語り部」を養成する
- (3) 郷土の昔ばなし「語り部」の出前公演を行う
- (4) 郷土の昔ばなし「語り部館」を設置し、公演会を開催する。
- (5) その他、本会の目的を達成するために必要な事業を行う。

第2章 会員及び役員

第5条 (会員)

- 1 本会の趣旨、目的を理解し賛意あるものを以って構成し、何人の入会も妨げない
- 2 本会に対する協力と理解を高めることにより、事業活動の維持に資することを目的に
団体賛助会員と個人賛助会員を募る

第6条 (役員)

- 1 本会は次の役員を置く
 - (1) 会長 1名
 - (2) 副会長 若干名
 - (3) 会計 2名
 - (4) 事務局 若干名
 - (5) 理事 若干名
 - (6) 監事 2名
- 2 会長、副会長、会計、事務局は、理事会・監事の推薦を受け、総会の承認を得て推戴する。

3 理事及び監事は、総会において選出する

第7条（役員の任務）

役員は、次の任務を遂行する。

- （1）会長 本会を代表し、会務を統括する
- （2）副会長 会長の補佐・代行お業務をし、会の円滑な運営を図る
- （3）会計 本会の現金出納等、会計事務を行う
- （4）事務局 本会の事務処理及びマネージメント業務を行う
- （5）理事 各業務を分担し、かつその他、会の運営に関することを審議する
- （6）監事 本会の会計・業務を監査し、年1回会員にその結果を報告する

第8条（役員の任期）

- 1 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない
- 2 補欠により役員が任期途中で就任したときは、前任者の残任期間とする

第9条（顧問及び相談役）

本会には、顧問及び相談役を置くことができる。顧問及び相談役は、本会会員の中から会長が委嘱する

第10条（総会）

- 1 総会は会員をもって構成し、年1回会長が招集する
但し、会長は、必要があると判断した場合、臨時に総会を開催することができる
- 2 総会の議長は、会長がする
- 3 総会は、次の事項を審議決定する
 - （1）事業報告、事業計画に関すること
 - （2）予算、決算に関すること
 - （3）役員の選任に関すること
 - （4）会則に関すること
 - （5）その他、本会運営上必要と認めた事項
- 4 緊急の決議を要するときは、総会の代わりに理事会に委任決議とする
- 5 総会は、本会の過半数以上の出席をもって成立する。但し委任状にて出席と認める
- 6 議事は、出席全員の過半数をもって決する

第11条（理事会）

- 1 理事会は、会長及び役員が必要に応じ、また緊急決議を要するときに開催することができる
- 2 理事会は、第6条で定める役員をもって構成し、会長が議長となる。但し、監事を除く
- 3 理事会は、総会の議決した事項の執行に関する事項、及びその他の総会の議決を要しない業務の執行に関し、議決する
- 4 理事会は、緊急決議を要する事項に関し、議決する
- 5 議事は、出席理事の過半数をもって決し、可否同数の時は、議長の決するところによる

第12条（運営経費）

本会の運営に要する経費は、会費、寄付金及びその他の収入を以って充てる

第13条（会費）

- 1 会費は総会において定める会費を納入しなければならない
- 2 会員は、年会費として2,000円を毎年6月末までに納入する
- 3 賛助会員は次のとおりとする
 - （1）団体賛助会員（年間） 一口 1万円以上
 - （2）個人賛助会員（年間） 一口 5千円

第14条（会員の資格抹消）

本会会員が次の各号に該当することになった場合、会員資格を抹消することができる

- （1）所定の会費を納めなかったとき
- （2）本会の目的、規則に違反する行為があったとき
- （3）その他会員資格を抹消に相当する事項が認められるとき

第3章 補則

第15条（会則の改廃）

本則は、総会において出席会員の過半数以上の賛成を得て変更することができる

第16条（設立年月日）

本会の設立年月日は、平成23年8月1日とする

附則

- 1 本則は、令和元年11月20日から施行する
- 2 本会の初年度の会計年度は、第14条の規定にかかわらず、本会の設立した日から当該年度の3月31日までとする
- 3 本会則は、令和元年12月1日から実施する

この規約の記載内容について事実と相違ないことを証明します。

埼玉県行田市須加4621 代表者 福島伸悦

活 動 実 績 一 覧

期 日 (時間)	内 容	場 所	備 考
令和2年			
4月7日	理事会	サロン空華	総会準備打合せ 定期総会資料確認
5月5日	理事会	サロン空華	
6月2日	理事会	サロン空華	
6月9日	出前公演(出演者4名)	忍・行田公民館	
6月28日	出前公演(出演者3名)	高澤記念館	いきいきサロンしらかば
7月7日	理事会	サロン空華	
7月10日	養成講座	サロン空華	
7月26日	出前公演(出演者3名)	高澤記念館	
8月4日	理事会	サロン空華	
9月1日	理事会	商工センター	
9月11日	特別養成講座	商工センター	
10月6日	理事会	商工センター	
	10周年記念誌第1回編集会議(出席者8名)	富士見寿司	
10月9日	養成講座	商工センター	
10月13日	南河原小学校わくわくクラブ(出演者5名)	南河原支所	講師 中里貴子先生
10月22日	行田ロータリークラブ定例会(出演者4名)	熊谷バーデンパレス	
10月27日	出前公演(出演者3名)	高澤記念館	
11月3日	理事会	商工センター	
11月13日	特別養成講座	商工センター	
11月22日	出前公演(出演者3名)	高澤記念館	
12月1日	理事会	商工センター	
12月11日	養成講座	商工センター	
令和3年			
1月12日	理事会&養成講座	商工センター	講師 中里貴子先生
1月24日	出前公演(出演者3名)	高澤記念館	
2月2日	進修館高校「行田学」出演者6名	進修館高校	
2月12日	理事会	石之蔵空華	
3月2日	理事会	商工センター	
3月12日	特別養成講座	商工センター	
3月29日	出前公演(出席者3名)	高澤記念館	

※写真やチラシ等、活動内容が分かるものがあれば添付してください。



忍の行田の 「昔ばなし」 語り部の会

【発行責任者】福島伸悦

【編集委員】

平井ユリ枝・佐藤泰司・野原恵美子

【発行元】

〒361-0004 埼玉県行田市須加4621

E-mail kotokuji@muc.biglobe.ne.jp

TEL. 090-8879-6802 (福島)

FAX. 048-557-2347

【令和2年4月】 第3号



埼玉県立進脩館高等学校「行田学」にて出前公演

創立10周年に向けて

会長 福島伸悦

昨年、永島健雄前会長が体調を崩され退任を余儀なくされたため、不肖私が会長をお引き受けることになりました。力不足ではありますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

永島前会長は、常に前向きに情熱をもって、行田市の行く末を案じられておられました。水の問題から行田市の観光まで、活気ある街にするためにはどうすればよいのか、いつも熱く語っておられました。行田市民大学の発足にも、行田ロータリークラブ会長であった山本憲作氏とともに尽力され、忍郷友会進脩塾素読教室塾長の田代敬二氏、大島康三氏とともに、この『忍の行田の「昔ばなし」語り部の会』を平成23年8月に発足し、今日に至っています。

ご承知の通り、行田の地には昔から地域で伝わるお話がたくさん残っています。それらをまとめ、現在、語り部の教本として活用しています。

平成30年10月21日には、行田市商工センターにて7周年記念発表会を開催し、伝承者資格を有した会員による発表を行いました。講師による指導の成果もあり、それぞれが技術向上することができました。

来年には創立10周年を迎えます。それに向かって語り部の伝承者はさらなるレベルアップを目指す一方、後継者の育成や、応援して下さる方々のご理解を頂けるよう精進してまいりたいと存じます。何卒、なお一層の温かいご支援をお願い申し上げます。

地域のいきいきサロンに出演

いきいきサロンは行田市内に約92か所ありますが、令和元年度は12か所で出前公演をしました。特に地元に関係するお話の時には、「こんなことがあったのか!」「全然知らなかった!」「初めて聞いた!」等の意見もあり、公演後の会話も弾みました。

《令和元年度サロン出演場所》

- 4月—— 下町集会所
旭町婦人会館
富士見児童交通公園
- 5月—— 佐間三間会館
- 6月—— 忍行田公民館
野上手会館
埼玉片原会館
- 7月—— 長野東台集会所
埼玉渡柳農村センター
長野長久寺集会所
- 11月—— 若小玉勝呂会館
- 1月—— 谷郷柳坪集会所

毎月どこかでおはなしを!

- 定期公演 … 毎月第2日曜日 午後1時30分～
於 ぶらっと♪ぎょうだ(商工センター1階)
※時間約30分 演目/2～3話
- 出演公演 … 毎月第4日曜日 午後1時30分～
於 高澤記念館(国登録有形文化財)
※時間約30分 演目/2～3話
- 出前公演 … 毎月15日 午後2時～
於 長光寺 石之蔵空華(行田市須加4621)
※ワンコインコンサートの前座として1話



須加阿弥陀堂縁日「帰りがった仏様」



高澤記念館 東小学校6年生の課外授業



忍城散策道にて

行田市制施行70周年記念事業 「古墳群のある町 行田の歴史フォーラム」へ参加

令和元年7月15日(月)、みらい文化ホールにおいて、行田市制施行70周年記念事業の一環として行われた「古墳群のある町 行田の歴史フォーラム」に参加しました。琴の音色とともに語り部の会の代表作の一つでもある「古代蓮物語」が語られました。
(記/小堺百合子)

新たに伝承者資格2名取得

今年度の総会において、新たに2名の伝承者資格者の授与式を行う予定でしたが、紙面にてご紹介いたします。土屋博幸さんと土屋真理子さんです。お二人の伝承者としての更なる向上を祈念します。

ちなみに、現在の伝承者資格者は次の通りです。平井ユリ枝さん、佐藤泰司さん、野原恵美子さん、奥山紘子さん、関口進さん、上田久子さん、滝沢布沙さん、大嶋幸子さん、大澤勝次さん、小堺百合子さん、小久保亮子さん、新井まさ子さん、以上です。

行田市民大学での公演

令和2年1月16日(木)午前10時より、ものづくり大学の教室にて、行田市民大学の講座の一コマとして「帰ってきた仏様」「春日さま」「若王子古墳物語」などを語らせていただきました。

私どもは、行田市民大学1期生の卒業の折、行田の記憶を次世代へ伝えられるようにと永島前会長のご尽力により「語り部の会」を発足し、来年ではや10年を迎えます。毎年、ものづくり大学の教室で2年生の授業にそれぞれの演目を披露し、楽しんでいただいております。

市民大学の生徒は行田の歴史に造詣の深い方が多く、色々な質問がなされ、伝承者として心新たに身を引き締め、日々精進しなければと思います。毎年、大変良い経験を積ませていただき感謝です。

(記／平井ユリ枝)



前玉神社の公演

令和元年8月4日(日)、前玉神社の七夕祭りのアトラクションで葵雅楽会の方々と共演させていただきました。恒例の8月の第一日曜日は、神楽殿のそばに見事な竹が設けられ、ご来場の皆様に短冊を飾っていただいています。田島宮司様の神事後、幻想的な雰囲気の中で大変趣があり感動します。そんな中で、「小崎沼の伝説」「おとかさま」など語りました。

また、昨年3月最終の日曜日夕方から木花咲耶姫の桜祭りが開催されましたが、今年はやむなく中止となりました。桜並木を目の前に、桜のほのかな匂いが漂う神楽殿での出演は、とても風情があります。

昨今、前玉神社は、ねこ玉神社として脚光を浴び、大勢の参拝者でにぎわっています。

(記／平井ユリ枝)



養成講座

語り部の会養成講座では「忍の行田の昔ばなし」に思いを馳せながら和気あいあいと楽しく学んでいます。興味のある方は、大歓迎です。

【日時】毎月第2金曜日 午後1時～午後4時

【会場】行田市商工センター

また、特別養成講座では、朗読家・中里貴子先生、語り手・ながのいくお先生、(株)ボイスクリエーションシュルク代表取締役・佐藤恵先生の3名をお招きして、味わい深い勉強をさせていただきました。

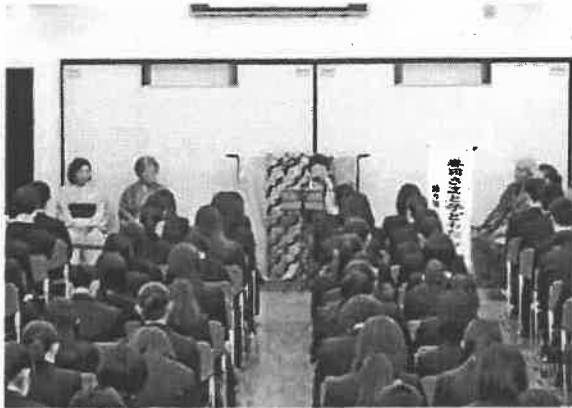
(記／野原恵美子)



埼玉県立進脩館高等学校での公演

令和元年1月28日(火)午後3時35分より、進脩館高校にて、総合学科の約200名の生徒を対象に、「行田学」というカリキュラムの一端として語りをいたしました。

行田学とは行田の活性化につながる文化・産業・観光等を学び、学びの中で生徒が自ら選び、実際の活動ができるようにとの趣旨だそうです。語り部は、「帰りがかった仏様」「二の丸稲荷」「春日様と子どもたち」の3話を語りました。行田の昔ばなしに触れることで、生徒さんたちの行田の歴史や文化への理解を深める一助となれればと願っています。(記/奥山紘子)



※進脩館高校1年生の感想・レポートの一部をご紹介します。

【質問】本日の公演を通して、行田の昔ばなしについてあなたが新たに学んだこと、知ったこと、考えたことなどを記入しなさい。

- ・「帰りがかった仏様」は登場人物の心情が深く語られていて、楽器の音と話の内容がよくあっていてとても感動した。(1組・男子)
- ・春日神社や利根川という知っている言葉が出てきたので興味深かったです。昔の出来事があっ

て今があるんだなと思いました。自分でも調べてみたいと思いました。(1組・男子)

- ・素敵な昔ばなしだったので、これからも受け継がれていって欲しいと思いました。行田にはいろいろな魅力があることを改めて知ることができました。(1組・女子)

- ・聞いているうちにどんどん話に入り込んでいきました。語りの昔ばなしは、自分の想像で映像が広がっていき、とても楽しかったです。

(4組・女子)

【質問】行田の「昔ばなし」を語り継ぐ人々の高齢化により、行田の「昔ばなし」が今後传承されなくなる可能性があります。行田の「昔ばなし」を後世に伝えていくために私たちはどうすればよいと思いますか？

- ・若い人たちがもっと興味をもって、今日みたいにもっと若い人たちに語っていけばなくなる可能性は低いと思いました。(1組・女子)

- ・語り部の会にボランティアとして中学生に参加してもらおう。(2組・女子)

- ・小さい子どもたちには難しい言葉が使われていてわかりにくかったりすると思うので、もっと簡単なポップな感じに書き換えてみると、もっと親しみやすくなると思います。また、自分は今まで「昔ばなし」があることさえ知らなかったもので、若い世代に、行田の「昔ばなし」の存在を教えることが大事だと思います。(2組・男子)

- ・私たちのような若い世代が受け継いで伝えていくことが一番良いと思います。例えば、小学校に語りに行く際に、紙芝居のようにしてみたり、それぞれ役を決めて劇のようにしたりするのがよいと思います。(3組・女子)

事務局便り

忍の行田の「昔ばなし」語り部の会は、行田に伝わる民話や伝説などの素晴らしさを後世まで残して「語りつないでいく」活動をしています。毎月第2日曜日はぶらっと♪ぎょうだ、第4日曜日は、高澤記念館にて午後1時半から、また各地のいきいきサロンなどで出前公演をしています。語り部伝承者の語りを是非聞いてみてください。また、いつでも入会を受け付けております。(記/土屋博幸)

忍の行田の「昔ばなし」語り部の会 入会のご案内



入会していただいた方には...

- 懇親会の開催
- 発表会にご招待
- 年1回 会報のお届け
- お知らせのご送付
- 出版予定の本に、お名前を掲載

同封の申込書に、年会費 2000 円（個人）を添え、
お申し込みください。

ご入会の方に昔ばなし台本をプレゼントします。

人前で語るというドキドキ感、充実感や達成感があります。お寺や文化財の建物での練習や発表は、日常生活から離れ、リフレッシュできる場となっています。

語り部伝承者になる...

【参加者の感想】

忍の行田の「昔ばなし」語り部の会

代表 太 福 島 伸 悦

発 足 平成 23 年 8 月

会 員 数 約 100 名（内 語り部伝承者 18 名）

住 所 埼玉県行田市須加 4621（長光寺内）

電 話 048-557-0999

F A X 048-557-2347

E-mail kotokuji@muc.biglobe.ne.jp

忍の行田の
「昔ばなし」
語り部の会

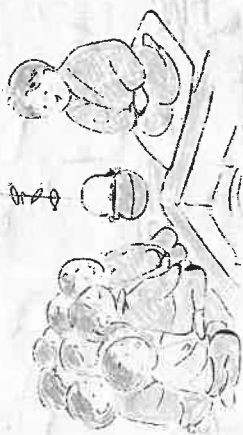
「ふるさと心」を未来へとつむぐ

失われつつある
ぎょうだの記憶を、
次の世代へ
繋げたいのです。

せわしいデジタル時代、
どんどん失われていく
城下町ぎょうだの記憶。

「語り部」とは、
ふるさとのルーツや心を
生の声を通して伝承する
たいせつな役割です。

わたしたちは、
ふるさとぎょうだの
失われつつある記憶を
次の世代へ繋げるため、
あなたのご協力を
必要としています。



足元の行田の「昔はなし」より

第一話 二の丸福荷

足城 諏訪神社

「足城」と申しますが、足城
には、「成田さまの時代」「阿
部さまの時代」「松平さまの
時代」とありまして、この昔
ばなしは「成田さまの時代」
のことです...

語り部の会が行っていること



●「出前公演」の開催

(毎月) 石之蔵空華、ぶらっと行田、高澤記念館
(不定期) 各公民館、各団体

●「語り部」募集と養成講座

どなたでも、会員であれば「語り部」養成講座
に参加いただくことができます。

(第2金曜日 午後1時 行田市商工センター
会議室。講座終了後、認定証発行)

●語り部用教本作製

●「行田の昔ばなし」本の出版

*準備中

会員として、
活動を支えてください

【会費が支えていること】

- ・行田の昔ばなしの公演活動
- ・語り部伝承者の養成(講師謝金等)
- ・記録と普及を目的とした本の出版